



# しなやか

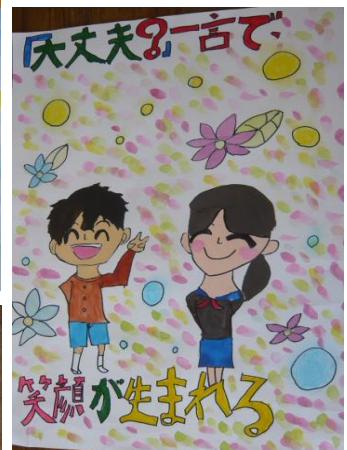


倉敷市立本荘小学校 令和5年6月14日

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。世間では新型コロナウイルス感染症も第五類移行により終息に向かっています。世間では、インターネットやSNSによる差別や誹謗中傷などの事案があふれています。法務省はスローガン「だれかのことじゃない、あなたの一言は誰かを傷つけていませんか?～ハートがなげりゃ SNS じゃない。」を定めて啓発を進めています。一人ひとりの命の大切さを実感し、ハートのある言葉で支え合って、人権感覚を磨きながら成長していく時だと思えます。

今年度本荘小学校では、人権目標「一人ひとりを大切にしたい望ましい人間関係の育成をめざして」をかかげて日々の教育に取り組んでいます。

人権にかかわる本校の取組みとしましては、年2回の「なかよしハッピー週間」(6/20～6/23までと12月上旬)を設定し、人権意識を高めていきたいと思えます。



## 「なかよしハッピー週間」では

- 1 読み聞かせグループ「陽だまり」による心温まる読み聞かせをします。
- 2 各学級で制作したポスターを教室や廊下に掲示します。そして、そのポスターの制作者の代表にインタビューをして給食時間に全校に放送します。
- 3 りんごの実「ありがとうの木」を教室に掲示し、よいことをした児童に児童がお礼の言葉を書いて張ります。
- 4 2月には「ハッピーレター大作戦」を実施し、学年を超えてお礼の手紙を渡します。
- 5 人権にかかわるDVDをみんなで見て感想を話し合います。

それ以外にも、毎月教職員が研修会を実施し、児童への接し方、場合場合の対応の仕方、ほめ言葉など資料を出し合い勉強しています。

保護者の皆様方も、「〇〇さんから手紙をもらったよ。」「先生が〇〇の話をしてくれたよ。」など、これらの学校の取組みをご家庭で子どもたちと話し合い、人権意識の向上の一助になれば幸いです。